

②佐原広域交流拠点PFI事業

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所
香取市

キーワード PFI事業、官民連携事業

全建賞審査委員会の評価ポイント

佐原広域交流拠点事業は、利根川沿いに防災・水辺・文化・交通の4機能を備えた拠点を整備するもので、一部の施設はPFI手法により整備された。民間の資金やノウハウを活用し、収益力を確保することで持続的な取組とされている点が評価された。

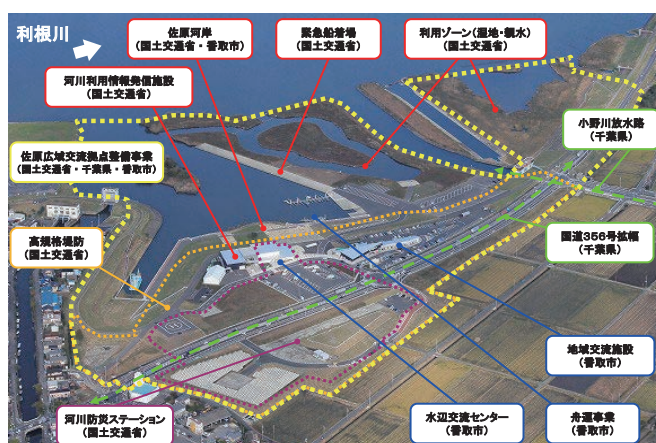
1. はじめに

本事業は、利根川下流部の防災拠点を形成するとともに、「佐原地域の都市再生に寄与する広域交流拠点を形成する」ことを基本方針とし、PFI手法により整備したもので、各種施設等の建設、維持管理及び運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的かつ効果的に公共サービスを提供した。

2. 事業の概要

本事業では、香取市本宿耕地地区において国、千葉県及び香取市が共同して高規格堤防上に河川防災ステーション、国道拡幅、道の駅などを整備し、さらに利根川には河川環境施設や舟運棧橋などを整備した。これにより、

①利根川下流部における防災拠点
②利根川の風景と自然環境を生かした水辺利用拠点
③河川改修や舟運の歴史・伝統を生かした文化交流拠点
④舟運と道路交通の利便性を生かした交通交流拠点
という4つの機能をもった広域交流拠点が形成された。この事業のうち、防災拠点と水辺利用拠点の一部及び文化交流拠点にPFI事業手法を導入して施設等の整備を行った。



「水の郷さわら」整備図

3. 事業の成果

1) 防災拠点

河川防災ステーション、緊急船着場、水辺交流センター（水防センター）等の防災関連施設を一体的に整備し、利根川下流部の防災拠点を形成した。東日本大震災では、自家発電設備を稼働し、住民の受け入れやシャワー等を開放した。また、TEC-FORCEの拠点となり、迅速な復旧作業を行う基地としても機能した。

平常時は、防災教育展示室にて学校教育等の団体を多数受け入れ、学習の場として活用されている。



防災教育の状況

2) 水辺利用拠点

利根川下流部の豊かな自然環境と水郷筑波国定公園に指定された雄大な利根川の景観を生かし、水辺・湿地の散策、利根川の風景展望、カヌーなどの水上レジャー拠点として利用されている。

3) 文化交流拠点

利根川の改修、舟運と佐原の歴史とのふれあいや市民活動の拠点として利用されている。

4) 交通交流拠点の形成

東関東自動車道佐原香取ICに近く、国道356号の我孫子市から銚子市の中間地点に位置していることから、ドライバーの休憩、食事処として利用されるとともに、観光船、レンタサイクルの発着場など、交通交流拠点としても利用されている。

4. おわりに

「水の郷さわら」は、令和7年4月以降も引き続き国土交通省、香取市が連携して維持管理・運営を行う。また、拠点機能の維持・向上を図るため、香取市が所有する施設については、安全に配慮した動線や飲食施設の再配置など、施設の設計及び改修等を行った上で、維持管理及び運営を行うDBO方式（設計・建設・運営を一体的に行う手法）により事業を実施している。

賛助会員 東洋建設(株)、前田建設工業(株)